

# 令和7年度東京都公立大学法人中期計画進捗状況報告書 様式例(案)

資料2

(項目別実績)

<b>大項目番号 1</b> <b>社会との価値共創</b>	I 東京都立大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 社会との価値共創に関する目標を達成するための措置
	(中期目標) ○ 東京都や区市町村等との連携・協働により、大都市課題の解決や社会の持続的発展に資する教育研究を推進し、その成果を都政・都民に広く還元する。

中期計画		中期計画・評価指標の進捗状況					
1 社会との価値共創に関する目標を達成するための措置	【評価指標 1-1-1-①】 TMU サステナブル研究推進機構における、持続可能な社会の実現に向けた研究など、都の課題解決に向けた調査・研究を6年間で延べ100件以上実施する。 <TMU サステナブル研究推進機構における都の課題解決に向けた調査・研究の件数>						
(1) 都や自治体等との連携・協働により、都市の課題解決に資する研究や人材育成面での協力等を一層推進するとともに、大学の教育・研究の成果を積極的に発信・還元して社会の課題解決や持続的発展に貢献し、地域社会に信頼される「知のコア」としての役割を遂行する。(1-1-1)							件)
前年度の実績値など、前中期計画期間との比較において参考となる数値を記載							R10 年度 XX
R5 年度 (実績)	○○の共同研究を開始するとともに、新たに◇◇を実施し、▲▲局との○○に関する共同研究の立上げにつなげた。						
R6 年度 (実績)	●●の共同研究を開始するとともに、新たに△△を実施し、△△局との●●に関する共同研究の立上げにつなげた。						
R7 年度 (実績)	新たに○○○を実施し、▲▲局との◇◇に関する共同研究の立上げにつなげた。【R10 年度まで継続実施】						
R8 年度	新たに○○○○を実施し、▼▼局と○○を実施する。【R10 年度まで継続実施】						
R9～10 年度	令和○(202○)年度には○○○○○を実施し、★★につなげるなど、引き続き都市の課題解決に資する研究を実施する。						
進捗確認対象年度までの取組実績と今後の取組予定を記載 進捗確認対象年度の次年度以降の取組予定は、重要な取組事項がある場合には、必要に応じ計画している年度が分かるよう記載、又は年度ごとに枠を分けて記載	力を入れて取り組んだ事項、数値の大きな変動や計画値との乖離の理由、マイルストーンとなる事項に係る実績、数値では示せない優れた実績や課題等を文章で記載 【評価指標 1-1-1-②】 都市の課題を解決するための政策形成に必要となる教育などを通じて、東京を支える人材の育成に寄与する。						
R5 年度 (実績)	◇◇人材育成事業など合計○件の人材育成に係る都連携事業を実施した。【特記事項 I -◆参照】						
R6 年度 (実績)	◆◇人材育成事業など合計●件の人材育成に係る都連携事業を実施した。【特記事項 I -◆参照】 【所見】今後、○○の見通しを検討しながら、取組の充実を図ることが期待される。						
R7 年度	◆所見等を参考に、××に取組むとともに、★★することにより、△△を実施した。 【所見】××について、具体的に△△することが期待される。						
R8 年度	新たに▲▲を実施し、○○することで▽▽を実施する。						
R9～10 年度	令和○(202○)年度までに▲▼を実施し、★につなげるなど、△▽を実施していく。						
【その他の実績】 ・ 市と連携した◇◇に関する調査研究など、都内区市町村と○件の共同研究等を実施した。	所見を受けて対応した事項がある項目については文頭に◆印を付け、どの所見に関する対応内容か分かるよう具体的に記載 特記事項がある項目については参考先を記載						

評価指標では表せない関連する実績があれば記載

